

平成27年11月16日に総務生活委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● 庁舎内の配置換え及び各出張所の活用について ●

～内容～

- ・配置換えの目的：「こども」に関する部署を1か所に集約するため、また、各出張所の有効活用と本庁舎1階の狭隘な状態を解消するため。
- ・配置換え案：保健センターの3階にある教育委員会を西庁舎の1階に移し、あわせて本庁舎1階にあるこども課を同じ西庁舎1階に移す。西庁舎1階の建設部を全て西庁舎の2階に移し、西庁舎2階の産業部は山手出張所に移す。なお、西庁舎2階の吉備路マラソン推進室は、保健センター3階へ移す。また、環境課を清音出張所に移し、環境水道部を1か所に集約しようとするもの。

～質疑～

問：新庁舎建設の際には、産業部も水道部も本庁舎に戻すのか。
答：新庁舎の計画では、全部署を集約する庁舎の規模を計画するようになる。新庁舎建設の際には、清音出張所の環境水道部、山手出張所の部署を全て新しい本庁舎に戻す。
問：将来的に、もし山手、清音出張所から部署を新庁舎に戻したとしても、活性化という課題は残る。その際、山手、清音では他の活性化を図るのか。
答：山手出張所、清音出張所の部署は、新庁舎へ引き上げることになっている。活性化については、新庁舎計画の際に、どのようなスタイルが取れるかは今後の検討課題だ。
問：土木担当員が地域応援課に相談に行ったときに、地域応援課のみで対応することはまずない。土木担当員に更に負担を掛けることが想定されるが、認識はどうか。
答：今後は、地域応援課で土木のことや農林のことも対応できるように考えていきたい。
問：活性化について、山手出張所を活用すること、それが同時に狭隘な市役所のスペースの確保につながるという説明だ。市役所の機能を分割することが地域の活性化にはつながるとは言えないが、どのように考えるか。
答：山手については、山手まちづくり協議会からも観光面が来てもらえないかという要望があった。地域の活性化については、職員を出すだけが活性化ではないと考えている。
問：移転をするのであれば、総社市役所内の部は本庁に残して、外郭団体あるいは、新しい活性化をするような部隊を山手出張所で運用していくことを提案したいが、どうか。
答：仮に観光協会を出すとしても、事務局員は一人だけしかおらず、活性化になるか疑

問である。外郭団体だけを持っていても、結局、本体の商工観光課が一緒になければ機能することが難しい。

問：山手まちづくり協議会からは、活用についてどういう要望が出されているのか。また、外部団体、森林組合、農業委員会、観光協会などを山手に移そうというような議論をしたのか。

答：山手まちづくり協議会からの要望は、山手地域には吉備路や国分寺等が近くにあり、観光に力を入れていきたい、是非商工観光課に来てもらいたいという要望であった。また、外郭団体、外部団体、農林課とか農業委員会などの移転も検討した。観光協会、農業委員会、こういったものを単独で出す場合には、今現在でも農業委員会への来庁者は農林課の職員と一緒に農地転用、農振解除をあわせて協議しており、離すことができないと考えている。

問：市長部局を分割せずに、山手出張所を活用する方法を再検討してほしい。産業部を移管することだけに着目をして案件が進んでいるが、どうか。

答：市長部局以外で検討できないかということだが、農業委員会、観光協会、選挙管理委員会などがあるが、逆に事務面でマイナスになると考えている。産業部を出すことがこれで本当にいいことかといえは、なかなか難しいところがあるが、本庁舎内の狭隘さも総合的に考えて、やむなしという判断をした。

問：早目に新庁舎の建設をしてもらいたいと思っている。合併特例債、地方交付税の合併算定替えについても、5年間延びた。新庁舎の建設についてどのように考えるか。

答：新庁舎の建て替えについてだが、現在予定されている、総社小学校の建て替え、給食調理場の建て替え、美術博物館、LRT、それに新庁舎、こういったものを、概算の事業費で、いつ建設をしたらこういった起債の償還になるかということシミュレーションして、どの時期が市の財政にとって一番負担が少ないかということを検討している。

問：山手出張所活用に、どの程度費用が掛かるのか分からないというのは、いかがなものか。耐震化も言われているが、建物のチェックはどの程度行っているのか。

答：山手出張所の耐震化については診断できていない。今回、実際に山手出張所を技術職員で見るぐらいしかできていない。執務室で使っていたときから最低でも5、6年経過している。執務室として、現在もすぐに機能するかは、使ってみないと分からない。

問：産業部が所管する電算システムにも多額のお金が掛かっている。もし、それが雨等で、何らかの不具合を生じたり、システムが壊れたりすると、大きな損害になるので、よく考えて出し直すべきではないか。

答：産業部についても、様々なパソコン関係とか電算関係を持っているので、建物のコンディションが原因で影響が出るのは、避けなければいけないと考えている。

問：市民から、もっと計画性を持ってやれという意見が出てくると思うが、どうか。

答：子ども部門をワンストップした方が、より便利にできるのではないかとということで、まずそこをしたいという発想である。

問：場当たりの市長部局を分散することによって、山手の地区が活性化するように思えない。トータルで市民サービスが上がるようにも思えない。もう一回議論を整理して確認をしてほしいがどうか。

答：既存の建物をうまく活用するのか、更には庁舎が狭いが、子どもはもちろん、保護者の手続きの簡素化を図るにはどうしたらいいのかということで、教育委員会、市長部局合わせて考えたものがこのような案である。必ずしも、山手出張所や山手地域の活性化だけを目的にしたものではない。

問：ワンストップ化の件について、今3階にこども夢づくり課があるが、子ども連れの来庁者からどのような意見があるのか。

答：現在、保育所と幼稚園の入所の申し込みの期間である。3階になったことで、場所が分かりづらいとか、一度こども課に寄ってもらい、3階に上がらないといけないという声は聞いている。

問：西庁舎前の駐車場が混雑するのではないか。その辺りはどのように考えているか。

答：産業部が西庁舎から山手出張所に行くことになれば、西庁舎西側の産業部の公用車駐車場が空くので、そういったところも活用できないか検討している。